

# 新百合ヶ丘駅徒歩圏約37haの緑あふれる 複合居住都市、「新百合山手」

新百合山手のまちづくり①

住宅を中心に商業、業務、文化系施設を配し、  
新百合ヶ丘の都心エリアを拡大

万福寺土地区画整理事業施行区域（新百合山手）の面積は約37ha。豊かな自然環境を活かしつつ、川崎市の新都心新百合ヶ丘を発展・拡大させるまちづくりです。そのため、戸建てやマンションなどの住宅を中心として、商業・業務施設、公益施設（麻生郵便局の建替）、文化施設（アートセンター）などを導入しました。また計画地の約1/4を公園や緑地として保全・整備しています。また幹線道路、準幹線道路などの整備も行い、円滑な地域の交通ネットワークを実現しました。

まちづくりのコンセプトは  
「人」、「緑」、「文化」

新百合山手は約7,700人の生活拠点であることから、「人が中心の、人にやさしいまちづくり」を、また以前から人々が自然に親しんできた緑豊かな場所であることから、「緑が映えるまちづくり」を、さらに、自然豊かな「里山」のイメージ、新百合ヶ丘の都会的イメージの両方を持つ、「文化性のあるまちづくり」をめざしました。このように、万福寺・新百合ヶ丘の地域資源をまちづくりにおいて継承し、長期的に発展させることが、新百合山手のまちづくりです。

## <新百合山手のまちづくり>

### 「人」

生活する人の視線を大切にした、  
やさしさやあたたかみが  
感じられるまちづくり



万福寺さとやま公園で遊ぶ子供達

### 「緑」

豊かな緑を都市の背景とし、  
自然を魅せた  
うるおいのあるまちづくり



万福寺ふるさと緑地

### 「文化」

地域に根ざした  
歴史や文化の香りが漂う、  
表情豊かなまちづくり



十二神社

## ■新百合山手基盤整備イメージパース



※このパースは平成16年4月時点での基盤整備計画に基づく  
基盤整備イメージです。